日本食物繊維学会
Newsletter
Japanese Association for Dietary Fiber Research
No.54
Oct.2022

CONTENTS

巻頭言 1
日本食物繊維学会第 27 回学術集会プログラム 2-7
編集委員会より 8

食物繊維に関わる状況の変化と学会活動について

日本食物繊維学会　理事長　青江誠一郎（大妻女子大学家政学部）

ニュースレター No.51 の東泉先生の巻頭言に記載のように，「日本標準食品成分表 2020 年版（八訂）」では，食物繊維の分析法に 2011.25 法が追加され，穀類を始めとした一部の食品に低分子水溶性食物繊維，高分子水溶性食物繊維が併記されるようになった。そして，令和元年国民健康・栄養調査では，食物繊維摂取量（総量）の算出にあたり「炭水化物成分表 別表 1」に収載された食品では AOAC2011.25 法による総量が用いられた。その結果，穀類からの食物繊維摂取量が大幅に増加し，日本人の 20 歳以上の男女平均の食物繊維摂取量が 1 日当たり 3.8 g 増加した。これは，日本人の穀類からの食物繊維摂取量が増えたのではなく，参照値が変わった事によることを知っておかなければならない。また，日本人の食事摂取基準 2020 年版の食物繊維の目標量は，平成 28 年国民健康・栄養調査の結果の中央値を参照しているため，2025 年版では目標量が変更になる可能性がある。しかし，低分子水溶性食物繊維の機能性に関する研究は少なく，白米や小麦などに含まれる低分子水溶性食物繊維の摂取が健康に及ぼす効果について研究が必要である。

一方，食品中の食物繊維含量を表示する場合には，プロスキー変法または酵素 -HPLC 法で測定した数値しか用いることができず，難消化性デンプン（レジスタントスターチ）の多い食品では表示値と実際に含まれる値との乖離が生じる問題があった。当学会も賛助会員の要望を受けて，消費者庁に食品表示の是正を求めるパブリックコメントを提出した。その結果，2022 年 8 月 30 日付で，食品表示基準について改正が行われ，酵素 -HPLC 法に AOAC2011.25 法が追加記載されることになった。

また，東京栄養サミットのコミットメントに関連した活動として，日本食物繊維学会では，以下の活動を行うことを，常務理事会で決定した。日本食における食物繊維摂取の質的・量的な特性を理解するために，日本人の食物繊維摂取に関する食事調査についての学術論文のレビューを行うとともに，国民健康・栄養調査の結果に基づき食品群別の食物繊維摂取の特徴をまとめる。食物繊維が腸内細菌叢と宿主のクロストークを調節する主要因であることに着目し，日本食において摂取される食物繊維の生理機能に関する実験研究を行う。

今後の当学会の活動のご理解と積極的な参画をお願いしたい。

第27回学術集会プログラム

会　　場：　大妻女子大学 大学校舎 1 階 A150 教室およびオンライン（Zoom）
　　大妻女子大学 地下 1 階アトリウム（懇親会）
学術集会長：　宮田富弘（川崎医療福祉大学）

第 27 回学術集会を，2022 年 11 月 5 日（土），6 日（日）に対面形式を中心にして開催します。新型コロナウイルス感染症蔓延の第 7 波も，ようやく収束の兆しが見えてきました。できるだけ多くの方に会場にお越しいただき，ルミナコイド研究の現状を相互に発表し合い，議論することで来期に向けた研究の活力となることを期待しています。オンライン参加であっても質疑応答ができます。発表賞も従来通り選考しますので，活発な討議をお願いします。会員の皆様におかれましては奮ってご参加ください。

1．行事日程

第１日　11 月５日（土）

9：00 ～：受付（Zoom 接続可）
9：30 ～：一般演題発表
12：45 ～：評議員会・総会
13：45 ～：学会賞・奨励賞　授与式
14：15 ～：一般演題発表
15：30 ～：シンポジウム
18：30 ～：懇親会

第２日　11 月６日（日）

9：00 ～：受付（Zoom 接続可）
9：30 ～：一般演題発表
12：00 ～：発表賞　表彰式

2．参加者へのご案内

1）総会および学術集会参加登録【参加登録最終期限：　2022 年 10 月 12 日（水）】

受付は開始 30 分前より，大妻女子大学大学校舎 1 階 A150 教室前にて行います。当日参加の方は，参加費（講演要旨集込み）をお支払いください。当日受付は，正会員 6,000 円，学生会員 3,000 円，非会員 7,000 円です。**オンライン参加の場合は，当日の参加登録は受付できません。**※参加費の振込は，10 月 19 日（水）までにお願いします。

2）呼び出し，クローク，昼食，宿泊等の手配など

- 会場での呼び出しは行いません。クロークも設置しませんので荷物等は各自で保管してください。
- 大学周辺には，飲食店やコンビニエンスストアが多数あります。
- 事務局では宿泊等の斡旋はしません。交通機関・宿泊の手配はお早めにお願いします。

3）懇親会

シンポジウム終了後に懇親会を開催します。**事前登録の方も当日参加の方も，当日受付にて申し込み，懇親会費 正会員 6,000 円，学生会員 3,000 円，非会員 7,000 円をお支払いください。**

日　程：11 月 5 日（土）18：30 ～
※事前にメール等で参加の可否をお尋ねする予定です。

4）学術集会に関する詳細や連絡

学会ホームページに掲載します。ご確認をお願いします。

5）学術集会に関するお問合せ先

【第 27 回学術集会実行委員会】
〒 701-0193　岡山県倉敷市松島 288
川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学科　宮田富弘 宛
Tel 086-462-1111　　FAX 086-463-3508
E-mail: miyada@mw.kawasaki-m.ac.jp

6）学術集会会場への交通案内

大妻女子大学へのアクセスは，以下のホームページをご参照ください。
https://www.otsuma.ac.jp/access/

3．講演者，討論者，座長へのお願い

会場での講演および討論はこれまでどおりの対面形式を主にしますが，オンライン参加もできるように Zoom を使用してのハイブリッド運営を準備しています。

オンラインで参加の方は，次ページの「第 27 回学術集会へのオンライン参加について」を参考にしてください。

1）講演

- 各演題の持ち時間は **15 分（発表 10 分，質疑応答 4 分，交代 1 分）**です。PC は Windows（PowerPoint，スライドサイズ 4：3）を用意しますので，発表ファイルを保存した USB メモリーを，**発表するセッションの 15 分前までに発表受付に提出してください。**発表ファイル名は，演題番号 発表者（所属）としてください。

  例）1-1 食物太郎（食物繊維大）

- 発表者の PC*は，Zoom でオンライン接続されています。この PC の Zoom 画面が会場に投影され，同時にオンラインで配信されます。　＊：パネリスト権限を設定
- 発表は，Zoom の「画面の共有」でご自身の発表ファイルを開き，座長の指示があってから開始してください。
- 最初のスライドには，演題タイトル，氏名，所属を入れてください。
- 発表では，PowerPoint のレーザーポインタを使ってください。
- 発表時間の厳守をお願いします。

2）質疑応答

- 質問者は座長の指示に従い，所属と氏名を述べてから，ご発言ください。

3）座長へのお願い

- 運営の都合上，担当時間 30 分前までに会場に到着し，受付に出席している旨をお知らせください。
- 進行は，通常の学術集会どおり（発表演題名，演者の氏名と所属の紹介，質疑応答）でお願いします。発表賞候補者の演題の場合，その旨を伝えてください。
- オンライン参加で「手を挙げる」ボタンを押した質問者は，座長席のパソコンと発表者に表示されます。指名する場合は，Zoom から**「トークを許可」**してください。

4．第 27 回学術集会へのオンライン参加について

1）参加方法

- 第 27 回学術集会（ウェビナー）には，通常の Zoom アプリ（無料）で参加できます。Zoom の基本操作をご理解*のうえで，ご参加ください。　＊：問い合わせには回答できません。
- 学会の HP（http://jdf.umin.ne.jp）に，第 27 回学術集会への参加方法等の詳細を掲載していますので参考にしてください。
- 参加手順は，以下の流れになります。

①学会ホームページ　→　第 27 回学術集会にアクセス
②第 27 回学術集会　→　入力欄に事前にメール送信された ID とパスワードを入力
③ウェビナー登録　→　入力例を参考にして，氏名と所属を入力
参加登録に使用したメールアドレスを入力

- 演者あるいは参加者は，HP に記載の該当する内容をご確認いただき，ご参加ください。

5．新型コロナウイルス感染症対策について

- 新型コロナウイルスワクチン接種（3 回以上推奨）あるいは事前に PCR 検査または抗原検査で陰性であることを確認してから，ご参加ください。
- 当日に，発熱，咳，倦怠感など新型コロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合，あるいは濃厚接触者となった場合（疑いがある場合）は，参加をお控えください。
- 参加日ごとに，参加受付にトリアージシート*をご提出ください。
  ＊：学会 HP からダウンロードできますので，事前に準備してご参加ください。
- 必ずマスクを着用してください。
- 会場内ではソーシャルディスタンスの徹底にご協力ください。
- 飲食の際は黙食をし，マスクを外しての会話はお控えください。
- 懇親会会場では，黙食スペースとフリートークスペースを分けています。飲食しながらの会話はお控えください。

6．市民公開講演会

「食物繊維が紡ぐ健康長寿」

【日　時】11 月 23 日（水）13：30 ～ 15：00　※無料（事前申込み不要）
【場　所】くらしき健康福祉プラザ　プラザホール（岡山県倉敷市笹沖 180）
【主　催】日本食物繊維学会

市民講座①「食物繊維に期待される健康効果！　食物繊維の今昔」
宮田富弘（川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学科）
市民講座②「腸内フローラを咲かせる食生活」
青木孝文（川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学科）
市民講座③「キレイの味方！食物繊維～倉敷市の食事お助け術～」
若狭麻未（くらしき健康プラザ）

一般演題プログラム

1日目　11月5日（土）　9:30～11:30，14:00～15:00

座長　東泉裕子（国立健康・栄養研）

演題番号	時刻	演題および演者
1-1	9：30	マルトビオン酸の摂取がミネラル吸収と骨パラメータに及ぼす効果 ○末廣大樹[1]，西尾彩花[2]，森脇勇一郎[2]，矢野利紗[3]，高峰弘起[3]，深見　健[1]，大西素子[2,3] （[1]サンエイ糖化(株)，[2]中部大院・応用生物，[3]中部大・応用生物）
1-2	9：45	ハイアミロース小麦粉配合食品の摂取による食後血糖値上昇抑制効果の作用機序の解析 ○岡　千尋[1]，菊池洋介[1]，貴島　聡[2]，塚本一民[2]，茂木大介[2]，青江誠一郎[3] （[1](株)日清製粉グループ本社，[2]日清製粉(株)，[3]大妻女子大）
1-3	10：00	イチゴの抗炎症効果にペクチンが及ぼす影響の解析 船橋江美子[1]，北口公司[1,2]，○矢部富雄[1,2,3] （[1]岐阜大院・自然科学，[2]先制食未来研究セ，[3]iGCORE）
1-4	10：15	腸管管腔内化学受容と腸上皮バリア機能調節 ○唐木晋一郎，池谷舞桜，塚本滉太 （静岡県大院・薬食生命科学総合学府）

（休憩 15 分）

座長　比良　徹（北大院）

演題番号	時刻	演題および演者
1-5	10：45	食物繊維サイリウムの摂取は，小腸上皮のメカノセンサー Piezo1 を介して抗菌ペプチド Reg3 の発現を誘導する ○安居朋紀，Dina Mustika Rini，山本祥也，鈴木卓弥 （広大院・統合生命科学）
1-6	11：00	食物繊維サイリウム摂取は，小腸上皮の Gasdermin C 発現を強く誘導する ○松永太陽[1]，山本祥也[2]，鈴木卓弥[2] （[1]広大・生物生産，[2]広大院・統合生命科学）
1-7	11：15	難消化性グルカンによる小腸下部へのグルコース供給は GLP-2 分泌を促し，ラット回腸粘膜を肥厚させる ○仁科里佳子[1]，五藤智也[1]，日野真吾[2]，森田達也[2]，西村直道[2] （[1]静大院・総合科学技術，[2]静大・学術院）
1-8	11：30	ラットにおいてマンニトールによる小腸進展刺激が GLP-1 分泌を促進する 木村夏織[1]，早川真輝[1]，○比良　徹[1,2] （[1]北大院・農学院，[2]北大院・農学研究院）

12：45～　評議員会・総会

13：45～　学会賞・奨励賞　授与式

座長　田邊宏基（名寄市大）

演題番号	時刻	演題および演者
1-9	14：15	スクロースによる脂肪肝，高中性脂肪血症は消化管を介して起きる ○小田裕昭[1]，孫　淑敏[1]，荒木由希[1]，斉藤　栞[1]，西村直道[2]，望月　聡[3] （[1]名大院・生命農学，[2]静大・農，[3]大分大・教育）
1-10	14：30	大麦β−グルカンの摂取による胆汁酸代謝を介した脂質代謝の改善メカニズムの検討 ○三尾建斗[1,2]，田中直子[1,3]，大野麻里奈[2]，山中千恵美[3]，蓼沼夏希[1]，小川玲奈[1]，青江誠一郎[1,3] （[1]大妻女子大院，[2](株)はくばく，[3]大妻女子大・人間生活文化研）
1-11	14：45	ウコンでんぷんの摂取がラットの脂質代謝および腸内環境に与える影響 ○ Asanka Ekanayake[1]，石井良汰[1]，上田莉帆[1]，Samanthi Pelpolage[1]，永田龍次[1]，福間直希[1,2]，島田謙一郎[1]，韓　圭鎬[1,2]，福島道広[1] （[1]帯畜大・生命・食料，[2]帯畜大・GAMRC）

（休憩 30 分）

シンポジウム

1日目　11月5日（土）　15:30 ～ 17:50

座長：森田達也（静岡大学学術院），宮田富弘（川崎医療福祉大学大学院）

食物繊維研究の新たな広がり

15：30　1. 食物繊維によるエネルギー摂取低下とその機構
岸田太郎（愛媛大学大学院農学研究科）

16：05　2. 口腔－腸内細菌叢の関連と食物繊維の可能性について
村上圭史（川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科）

16：40　3. 食物繊維に運動で腸内細菌叢を...
矢野博己（川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科）

17：15　4. 短鎖脂肪酸を含有した大腸送達シームレスカプセルの開発
河野麻実子（森下仁丹株式会社事業統括本部研究開発部）

18：30 ～　懇親会

２日目　11 月６日（日）9:30 ～ 11:30

座長　藤谷美菜（愛媛大）

演題番号	時刻	演題および演者
2-1	9：30	難消化性オリゴ糖の継続摂取がラットの腸内細菌を介したフラボノイド分解能に及ぼす影響 ○田辺賢一[1]，山本健太[1]，折式田　彩[1]，宮崎理加[1]，熊谷美乃里[1]，真子穂香[1]，中村禎子[2]，奥　恒行[3] （[1]中村学園大・栄養科学，[2]十文字学園女子大院・人間生活，[3]十文字学園女子大・国際栄養食文化健康研）
2-2	9：45	異なる種類の食餌脂質（牛脂，パーム油，綿実油，亜麻仁油）がオリゴ糖摂取ラットの大腸 ALP 活性を含む腸内環境調節因子に及ぼす影響 佐藤里咲，白鳥菜々子，大柏優衣，酒井茉帆，○岡崎由佳子 （藤女子大・人間生活）
2-3	10：00	高でんぷん・低食物繊維食マウスの腸内細菌叢に及ぼす焙煎ごぼう茶飲料およびその残渣の影響 ○山本茉紘[1]，小椋ひかる[1]，高橋　肇[1]，井上淳詞[2]，高柳　周[2]，久田　孝[1] （[1]東京海洋大院，[2]あじかん）
2-4	10：15	ヒト腸内細菌由来水素ガス測定による２種類のリン酸高架橋デンプンに対する発酵性の評価 ○奥田明日香[1]，田辺賢一[2,3]，金高有里[3,4]，倉若美咲樹[3]，山崎優子[3]，後田ちひろ[3,5]，奥　恒行[3]，中村禎子[1,3] （[1]十文字学園女子大院・人間生活学，[2]中村学園大・栄養科学，[3]十文字学園女子大・国際栄養食文化健康研，[4]札幌保健医療大・保健医療，[5]藤田医科大・医学）

（休憩 15 分）

座長　田辺賢一（中村学園大）

演題番号	時刻	演題および演者
2-5	10：45	ヒト糞便培養試験におけるエイ由来ムチンの *Akkermansia muciniphila* 誘導能と *Akkermansia* 増殖がラット DSS 大腸炎および耐糖能に及ぼす影響の検討 ○宮田高明[1]，内藤祐里奈[2]，日野真吾[3]，西村直道[3]，森田達也[3] （[1]静大・創造科学技術院，[2]静大院・総合科学技術，[3]静大・学術院）
2-6	11：00	24 ウェルプレート培養腸内細菌に対する難消化性糖類添加の影響 ○山口万柚子，逢坂文那，加藤英介，園山　慶 （北大院・農）
2-7	11：15	液体培地を用いた線虫（*C.elegans*）のプロピオン酸代謝能の測定 ○三浦紀称嗣[1]，宮田恵多[2]，宮田富弘[1] （[1]川崎医療福祉大・臨床栄養，[2]山梨学院大・管理栄養）

12：00 ～　発表賞　表彰式

編集委員会より

ニュースレターNo.54をお届けいたします。第27回の学術集会は，川崎医療福祉大学の宮田富弘先生が集会長となられて，大妻女子大学を会場に3年ぶりに対面形式で開催されます。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。さて，ニュースレターに関しまして2015年のNo.39から2022年のNo.54まで早川享志先生とともに編集・企画を担当させていただきましたが，次号からは西村直道先生へバトンタッチいたします。これまで執筆に関し多くの方々にご協力いただきまして，厚くお礼申し上げます（江頭祐嘉合）

令和４年度会費納入のお願い

当学会は，学術集会，公開講演会，学会誌，ニュースレターの発行などの運営を会費に依存しております。令和４年度の会費納入がまだの方は，「令和４度年会費」と会員番号をご記入頂き，郵便振替にてお振り込み下さいますようお願いします。振り込みの詳細については，学会ホームページ「年会費」に記載されております。なお，会員番号は封筒の宛名ラベル右下に印字してあります。

令和４年度年会費

正会員 8,000円　学生会員 2,000円　団体会員 10,000円　賛助会員 70,000円（一口）

卒業・就職などで学生会員でなくなられた方は同封の会員名簿変更届けにてお知らせください。

会員状況：令和４年10月１日現在

●会員数　218名　（学生会員20名）

●賛助会員　44社　●団体会員　８団体　●名誉会員　３名

【賛助会員】

株式会社ＡＤＥＫＡ
伊那食品工業株式会社
イングレディオン・ジャパン株式会社
塩水港精糖株式会社
王子コーンスターチ株式会社
大塚食品株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社荻野商店
株式会社カーギルジャパン
カルビー株式会社
株式会社サナス
サンエイ糖化株式会社
三和澱粉工業株式会社
ＣＭＣ工業会
株式会社Ｊ－オイルミルズ
清水化学株式会社
昭和産業株式会社
信越化学工業株式会社
住友ファーマ フード&ケミカル株式会社
全国精麦工業協同組合連合会
太陽化学株式会社
ダニスコジャパン株式会社
帝人株式会社
株式会社東洋新薬
永倉精麦株式会社
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社日清製粉グループ本社
日清ファルマ株式会社
日本ケロッグ合同会社
日本食品化工株式会社
日本甜菜製糖株式会社
日本バイオコン株式会社
ネキシラ株式会社
株式会社はくばく
株式会社林原
株式会社ファンケル
フジ日本精糖株式会社
富士フイルム和光純薬株式会社
松谷化学工業株式会社
株式会社マルヤナギ小倉屋
山崎製パン株式会社
雪印メグミルク株式会社
レッテンマイヤージャパン株式会社
ロケットジャパン株式会社
（五十音順）

日本食物繊維学会　Newsletter No.54

発行日：　2022年10月10日
発行人：　（一社）日本食物繊維学会理事長　青江誠一郎
編集人：　早川享志，江頭祐嘉合
印刷所：　江戸クリエート株式会社
〒113-0033　東京都文京区本郷3-43-16
コア本郷ビル

（一社）日本食物繊維学会事務局
江戸クリエート株式会社 内
〒113-0033　東京都文京区本郷3-43-16
コア本郷ビル
E-mail：jdf.office@luminacoids.jp
TEL：03-3814-1225　Fax：03-3814-3215
URL：**http://jdf.umin.ne.jp**